

平成28年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成28年4月1日 ～ 平成29年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ(西地区)	所管課	子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ふじみ野市学童保育の会	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成31年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成23年4月1日	指定回数	2回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る		
施設概要	大井放課後児童クラブ(定員70名、延床面積282.78㎡)、鶴ヶ丘放課後児童クラブ(定員60名、延床面積138.44㎡)、第2鶴ヶ丘放課後児童クラブ(定員60名、延床面積164.37㎡)、東原・第2東原・第3東原放課後児童クラブ(定員120名、延床面積336.20㎡)、西原放課後児童クラブ(定員40名、延床面積96.05㎡)、亀久保放課後児童クラブ(定員70名、延床面積142.63㎡)、三角放課後児童クラブ(定員42名、延床面積93.57㎡)、東台放課後児童クラブ(定員66名、延床面積165.62㎡)		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標以上の結果(5以外)/3:目標値に達している場合/2:目標値をやや下回る場合/1:目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか	評価
特記事項 (問題等があった場合)	3

2 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	平均在籍児童数	501 人	496 人	105.8%	99.0%	
(特記事項)						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営に関すること 施設及び設備の維持管理に関すること 個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関すること 意見・要望への対応 運営改善の取組に関すること 児童の保育及び健全育成に関すること その他指定管理に関する業務 				
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 長期休み(夏休み・冬休み・春休み)の一時保育 延長保育 屋のお弁当注文サービス 					
サービス向上の取組	平成28年度は、保育技術や地域交流、障がい児対応、危機管理、個人情報保護の観点から内部6回、外部21回の研修を実施し、延べ310人の研修参加実績があった。このことにより、サービスの総合的な向上を図っている。					

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】平成28年12月16日～12月26日 【調査方法】利用保護者に対し、アンケートを実施。 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員等と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧行事⑨遊具・施設⑩おやつ提供⑪利用時間⑫保護者懇談会実施方法⑬総合印象		
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満足」「不満足」の選択制で調査を行った結果、「満足」～「ふつう」は各項目で84.7%以上であった。 ⑬総合印象は、「満足」「やや満足」と78.9%が回答し、全体として高評価となった。(満足45.7%、やや満足33.2%、ふつう16.8%、やや不満足0%、不満足0%、未回答4.3%)		3
	(1) 良好とする評価 ・働く親として、放課後を「おかえり！」と温かく、子どもたちみんなが安心して楽しく過ごさせていただき、本当に感謝！ ・おたよりや連絡帳で写真や親しみやすい文章でこまめに伝えてくれるのでありがたい。 ・おやつは種類もいろいろで、時々ふかし芋など手作りのもので嬉しい家ではなかなか出さないものが出るらしく、ビックリで、うらやましい。 ・保護者会は初めのうち集まるのは面倒だったが、先生の楽しくまじめに報告して下さる姿に楽しくなった。 ・ふじみ野市は子育てに力を入れており、財源をあててもらっていて大変恵まれた環境にももちろん感謝しているが、仕事や考え方の多様化により、色々やりにくいことが多いのも現状。「学童保育の会」はすごい取組みをしている！と自慢できる学童クラブになってほしい。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ・施設の老朽化が目立つ、また、少し部屋が小さい気がしている。未だに男女共用トイレであったり、和式便器であったりするところがある。 ・上級生の子が言葉遣いが悪く、一方的に悪口や攻撃してくるのどまいてるようだ。クラブの中で、そういうことがなくなるよう、全員に向けてお話があるといいと思う。 ・支援員の人数が少ないと、長期ではやはり負担が大きくなり、働き辛くなると思う。 ・保護者会は、個人面談や行事もたくさんあるので、報告等手紙で配布し、年2回ぐらいで良いかなと思う。 ・ぜひ良かったが、おやつをスナック菓子はやめてほしい。 《対応措置》 ・男女共用トイレの問題は、平成28年度福岡放課後児童クラブで1箇所解消となり、残る箇所についても平成29年度以降の整備で順次解消する見込み。 ・異学年交流については、問題となることが多々あり、子どもたち自身の解消を目指しつつも、問題があった児童間での出来事には注視し、児童間での自己解決が難しいケースについては、職員が仲裁するよう心がけている。 ・職員の募集については、市としても広報で呼びかけるなど法人の取り組みに協力している。 ・保護者会の回数が多いというご意見については、相反するご意見もあり、より多くの方が適切と考える回数を検討しているところである。 ・おやつは、在籍人数の規模等の状況により、頻繁に手作りを実施出来ないクラブもあるが、極力実施するよう呼びかけている。		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成28年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	施設使用料	43,685,249	施設使用料	41,170,500	3
	指定管理料	118,814,000	指定管理料	125,609,000		行政財産使用料	1,300	行政財産使用料	1,300	
	自主事業※		自主事業※			国庫支出金	27,460,000	国庫支出金	25,514,000	
	その他収入	9,866,386	その他収入	8,953,891		県支出金	28,510,958	県支出金	27,737,000	
						その他	1,113,000	その他	1,815,000	
	計	128,680,386	計	134,562,891		計	100,770,507	計	96,237,800	
支出	人件費	111,497,000	人件費	113,975,398	歳出	修繕料	340,200	修繕料	129,384	3
	設備管理費	2,078,000	設備管理費	2,220,247		保険料	86,364	保険料	52,087	
	備品購入費	2,892,000	備品購入費	2,536,372		指定管理料	125,609,000	指定管理料	126,474,951	
	修繕費	800,000	修繕費	823,583		業務委託料	0	業務委託料	0	
	光熱水費	3,078,000	光熱水費	2,347,046		土地・建物賃借料	0	土地・建物賃借料	0	
	事業費	1,793,000	事業費	957,922		その他	2,496,000	その他	4,960,000	
	事務経費	6,110,000	事務経費	5,493,715						
	本社経費	0	本社経費	0						
	その他	432,386	その他	0						
	計	128,680,386	計	128,354,283		計	128,105,000	計	131,616,422	
損益	0		6,208,608	差引	△ 27,334,493		△ 35,378,622			
※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること	自主事業 収入	1,250,000	自主事業 収入	1,847,150						
	自主事業 支出	1,143,000	自主事業 支出	1,311,150						
	自主事業 損益	107,000	自主事業 損益	536,000						
人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】								88.8%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3
	配置実績 運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置 各施設に2人以上の常勤放課後児童クラブ支援員を配置し、1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長とする。 設備運営基準第10条3項各号に定める資格を有する者を、各支援単位につき1人以上配置する。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	適	3
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	適	3
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	3
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	3
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	3
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 施設の設置目的の達成に関する取組

区分	具体的な取組の状況・実績	評価
児童の生活習慣の確立	・異学年での交流については、利用者からの消極的な意見も多い分野だが、放課後児童クラブにおける児童の生活の特色と捉え、年代別の役割を児童自らが考え、発達状況の異なる児童とのチームワークを行うことにより、育成効果の向上を目指す取り組みを行っている。	3
地域・家庭との連携	・学童フェスティバルを開催。模擬店の出店により、子どもたちの思い出づくりにも貢献している。学童フェスティバルは、日ごろ児童クラブ運営にご理解をいただいている地域住民の方々を招待する意味合いもあり、地域との協働の試みを行っている。 ・おい祭りでは、クラブでも恒例となっているよさこい踊りに参加した。 ・家庭との連携は、日ごろよりお迎え時の保護者とのコンタクトを大切にし、連絡帳やおたよりなどを用いて子どもたちの様子を知らせている。	

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

総合評価		子育て支援施設	
総合評価	評価項目	評価	<p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の設置目的の達成</p> <p>危機管理体制</p> <p>管理運営全般</p> <p>事業収支</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>C</p>
	指定管理者の健全性	3	
	施設の有効活用	3	
	利用者評価	3	
	事業収支	3	
	管理運営全般	3	
	危機管理体制	3	
	施設の設置目的の達成	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期目の指定ということもあり、地域性や児童との関係も理解が深く、安定した運営と評価できる。 ・保育の内容については、総合印象評価で78.9%の満足度評価を得ており、利用者からの支持も得られている。 ・事業収支については、概ね適正であると考えられる。 ・管理運営業務については、人事関係のトラブルから特定のクラブの職員が年度途中に一齐に退職する事案が発生した。他クラブの職員が当該クラブのシフトに交代で入るなど、リカバリーに奔走し、大きな問題がなく済んだことは評価できるが、児童や保護者のことを熟知している職員を失い、一時的にでも利用保護者・児童に不安を与えたことは深く反省し、職員の労務管理等について改善を促した。 ・事故に対する対応は、事故件数を減らすなど未然に解消する対応や分析が試みられているが、骨折等重大事故が起きた点、改善していただきたい。 ・また、事故時に現場で判断する傾向があり、状況を事務局や市に迅速に報告する体制の構築を求めたい。 ・児童クラブにおける避難訓練の取組は、警察・消防のアドバイス等も受けながら精力的に行われた点、高く評価できる。 ・その他、管理運営全体については概ねその取組みが評価できる。 		
取組・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保 ・事故等報告時の再発防止の検討が甘い部分が見受けられたため指導した。 ・文書の誤送については、チェック方法等の改善により解消された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート職員の昇給や求人広告による職員確保の取組を行ったが、必要最低限の人員確保にとどまっている。 ・事故報告書において、再発防止策に主眼を置く記述を心がけてもらい、職員の事故発生リスクの高い状況に対する意識の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者による保育人員確保に協力し、処遇改善等を検討し現職職員の意欲向上と、新規職員採用に取り組む。 ・同事業の指定管理者が2団体いることは、お互いの良い点を取り入れ、また、改善点を共有することができるという側面があるため、情報交換を促したい。また、事故の発生状況分析・再発防止の検証についても情報交換を行い、より多くのケースについて検証を行う。

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

- ・児童の安全確保、感染症情報の共有、児童への支援をよりの確に実施するために、学校との連携を密にしています。
- ・ケアを要するお子さんが入室する際は、事前に保護者の同意を得て就学前に利用していた保育所などと連携を取り、適切な援助・支援ができるように準備しています。
- ・放課後子ども教室との連携が図れるよう、年度はじめに職員同士の打ち合わせを持ち、自然交流時の申し合わせや交流会について話し合い、子どもたちの交流の機会を確保できるよう工夫しています。
- ・児童数や児童構成に合わせて保育年間計画を作成しています。行事を実施する際には、しっかり目的を持って実施しています。子どもたちも行事を楽しみにし、生活にメリハリを持たせています。
- ・異年齢集団である児童クラブの特性を生かし、高学年との会議を設け、子ども達と一緒に考えながら生活を作っています。また、日々の保育では子どもたちの発想や気づきを大事にした支援に心がけています。
- ・保育開始前には、日程・保護者からの連絡事項・児童の近況・安全確認等の打ち合わせを必ず実施し、児童の受け入れを整えています。
- ・放課後児童クラブ支援員専門分野の研修に加え、一般企業向研修を導入し、新たな視点や知識を職場に取り入れ、サービス向上に向けたスキルアップに取り組んでいます。
- ・東地区の児童クラブと交換研修を実施し、保育内容や保育環境について点検・振り返りの有効な機会としています。今後も継続して実施したいと考えています。
- ・午前中に開催される現況報告、保育会議では、各クラブから提出される各種報告書をもとに情報共有し、他クラブの良い部分は積極的に取り入れ、問題点については意見交換し、一緒に改善策を探り、全クラブの支援内容の向上を図っています。
- ・火災・震災・不審者侵入の緊急時に備え、児童クラブごとに年間3回以上の避難訓練を実施しています。クラブの立地条件や児童数を考慮した緊急対応ができるよう、消防署員や警察署員の立ち合いとアドバイスをもち、訓練を継続しています。
- ・各児童クラブ入り口付近に、勤務職員の顔写真と名前を掲示し、保護者にも親しみを持っていただけるよう努めています。
- ・保護者が放課後児童クラブの生活を参観したり、親子で一緒に楽しめるよう、歓迎会やクリスマス会、お楽しみ会等を実施しています。
- ・毎月1回発行されるクラブ便り、児童クラブでの子どもたちの生活の一部を切り取った内容を掲載するよう心掛けています。お便りを通じて、子どもたちの生活の様子が伝わり、家庭での会話のきっかけにもらえるよう、各クラブ、工夫を凝らして発行しています。
- ・ホームページを定期的に更新して情報を提供しています。また、利用者が入室等に必要な書類をダウンロードできるようにしています。

② 業務の効率化に対する取組

- ・メモ用紙には裏紙を、工作活動には空き箱等を積極的に利用しています。また、おやつや片付けの際は、燃えるゴミ、プラスチックゴミに分別して捨てるよう子どもたちにも指導し、資源の再利用と省エネやリサイクル活動に取り組んでいます。
- ・おおい作業所、協働舎レタスにはおやつや配達、自立支援センターたんぼぼには、豆腐作り体験をお願いするなど、地域団体との連携を図っています。これにより、おやつやメニューが増え、更に買い出しの時間削減にもなり、サービス向上にも繋がっています。
- ・教材費や消耗品の購入には、ネット通販を利用することで、時短、経費削減を図っています。
- ・前年度懸念事項であった「短時間正職員就業規則」を制定しました。職員が仕事と家庭生活を両立し、継続勤務することでキャリアを積み、事業のサービス向上に繋げることを目的としています。
- ・各クラブでおやつ代の通帳を管理していますが、通帳記帳にかかる時間削減のため、ネットで口座の入出金が確認できるサービスを導入しました。
- ・年3回の建物・施設の定期点検に加え、クラブから毎月提出される施設点検表をもとに、建物・設備・外構の修繕や備品の購入を行い、児童が安全に生活できるよう居住空間の維持管理を計画的に実施しています。
- ・職員のマイナンバーを管理するために、専用のパソコンを導入し、担当職員のみが取り扱うこととし、セキュリティ強化を図りました。

③ その他

- ・残念ながら、今年度、内部告発により東原放課後児童クラブ職員の不正が発覚するという不祥事が発生しました。不正内容は就業規則に違反する行為であったため、当法人では、直ちに内部調査をすすめ、市担当課にも経過報告をしつつ、調査結果をもとに懲罰委員会を開催し、当該職員の同意のもと、処分を決定しました。
- ・市担当課には、随時、報告をし、的確なアドバイスをいただきながら、経過報告書を提出致しました。
- (1) 上述の件は、当クラブにとって運営の危機ともなりましたが、この事態の対処の過程において、法人職員全体が、単に一クラブの問題としてではなく、他クラブの職員も含め全職員の共通認識のもと結束し一定の結論に達したことは、今後のクラブ運営方針の礎となったとともに、今後のクラブ運営に新たな一歩を踏み出すきっかけとなりました。
- ・市の事業である、おおい祭り子どもフェスティバルは、実行委員として準備段階から携わっています。特におおい祭りでのよさこい踊りには、児童、保護者、職員、約100名が参加しました。
- ・地域住民との交流を目的に、今年度も「ふじみ野学童フェスティバル」を開催しました。模擬店では、地域団体が新たに3団体参加し、大いに盛り上がりました。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・昨今、児童施設職員による児童へのわいせつ行為が問題になっています。採用面接の際には、面接マニュアルを利用し、保育者として適当な人材であるか更に厳しく見極めていきます。
- ・定期的に保護者会を開催していますが、出席者数が減少傾向にあるため、各クラブで内容を工夫し、出席率をあげ、保護者同士の連携が図れるようにしていきたいと思っています。
- ・施設の老朽化が目立つクラブもありますが、子どもたちに危険が及ばないよう、不備や不具合が生じた場合は、担当課にも相談し早急に対応していきます。
- ・慢性的な非常勤職員不足があり、その確保に向け、時給を860円から上限1,000円に改定いたしました。

(3) 次年度以降の取組

- ・「子ども・子育て新制度」後に新設された東原放課後児童クラブの実践をもとに、支援単位での育成支援と複数単位合同での育成支援の在り方、単位相互の連携等を継続して研究していきます。
- ・地域の子育て世代に向け、「こども健康・みんなで支え愛い事業」等を活用し、講演会を企画する予定です。